学校番号	3035

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『日本史探究』（実教出版）						
副教材等	『図説日本史通覧』（帝国書院） 『日本史用語集』（山川出版社） 『新日本史研究ノート[標準編]』（啓隆社） 『詳録新日本史史料集成』（第一学習社） 『共通テスト実力トレーニング日本史　2026』（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の社会の枠組みの変遷と、各時代の特徴を理解しよう。
・理解の出発点として、各時代の歴史的事象に「なぜ」の視点を持とう。
・世界史（特に東アジア史）の動きのなかで、日本史が展開されていく視点を持ち、現在の日本の在り方を考えよう。
・授業の前に教科書を読み（予習）、集中して授業を受けて学習内容を理解する（授業）、次に授業プリントを参照しながら教科書を何度もじっくり読みこみ、学習内容を確認・理解する（復習）。この予習→授業→復習のリズムを確立させること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や 年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

博物館、図書館、公文書館や資料館等の果たす役割やそこに展示・保存されている資料、地域の遺跡、景観や無形文化財などが、これまでどのように受け継がれてきたかなどの視点に着目し、「歴史資料や遺構の保存・保全などの努力が図られていることに気付く」ことなどを通して、文化財保護への関心を高め、地域の文化遺産を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本の歴史の変遷に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、自ら課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、文化及び文化財の継承と保護の重要性についての理解を培う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	近世の幕開け及び幕藩体制の成立と展開	・織豊政権と桃山文化 ・幕藩体制の成立とその構造 ・幕政の安定化と経済の発展及び元禄文化の展開	a:幕藩体制と当時の社会について、中世支配機構や土地支配の違いを踏まえて理解している。また、文献資料や伝世資料から得られる情報を活用し、社会の安定が経済や文化の発展に結び付いたことを理解している。 b:設定された主題について、諸資料から得られる情報をもとに、相互の関連・類似点や相違点、次の時代とのつながりに着目しつつ、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c: 幕藩体制について、成立過程や変遷・特徴を明らかにしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業内討論 ・発表等	ワークシート 提出課題 授業内討論 ・発表等 授業態度

前期	幕藩体制の動揺と近世から近代へ	・幕政の改革と宝暦・天明期の文化の展開 ・幕府の衰退と近代への道及び化政文化の展開 ・開国・幕末の動乱と幕府の滅亡・新政府の発足	a:幕藩体制の動揺と改革、崩壊と近代国家形成の推移について、社会の変化や諸学問の発達及び国際環境の変化を踏まえて理解している。また、これらに関する諸資料から得られる情報を読み取ることができる。 b:設定された主題について、諸資料から得られる情報をもとに、相互の関連・類似点や相違点、次の時代とのつながりに着目しつつ、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:日本の近代化に関する諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業内討論 ・発表等	ワークシート 提出課題 授業内討論 ・発表等 授業態度
後期	近代国家の成立と展開および産業と生活	・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦とワシントン体制 ・近代産業の発展と近代文化の発達及び市民生活の変容と大衆文化の発達	a:明治・大正期における近代国家の制度設計や市民社会の形成、外交の展開について、近代産業の発展及び近代文化・大衆文化の発達と関連させて理解している。また、これらに関する諸資料から得られる情報を読み取ることができる。 b:設定された主題について、諸資料から得られる情報をもとに、相互の関連・類似点や相違点、次の時代とのつながりに着目しつつ、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:対外戦争から協調外交への転換について、国内政治の変遷との関わりを見出そうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業内討論 ・発表等	ワークシート 提出課題 授業内討論 ・発表等 授業態度

後期	恐慌と第二次世界大戦及び占領下の日本	・恐慌の時代と軍部の台頭 ・第二次世界大戦 ・占領と改革及び冷戦の開始と講和	a:政治・経済の変化と軍部の直接行動、また、戦時体制と戦後改革の連続性という観点から時代の推移を理解している。 b:設定された主題について、諸資料から得られる情報をもとに、相互の関連・類似点や相違点、次の時代とのつながりに着目しつつ、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各国の外交政策や占領政策の転換など、世界の動きのなかで日本史が展開していく点を主体的に追究している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業内討論 ・発表等	ワークシート 提出課題 授業内討論 ・発表等 授業態度
後期	高度成長の時代から激動する世界と日本へ	・55 年体制と経済復興から高度成長へ ・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	a:独立回復後から現代までを政治的なまとまりごとに政治・経済・社会の特徴とその推移について理解している。また、諸資料から得られる情報を読み取ることができる。 b:設定された主題について、諸資料から得られる情報をもとに、相互の関連・類似点や相違点、次の時代とのつながりに着目しつつ、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各時期の特徴とその推移を踏まえ、現代における平和の模索・グローバル化する国際経済・情報と科学技術およびこれらに関連する地球規模の課題について、大きな枠組みを意識しながら主体的に追究している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業内討論 ・発表等	ワークシート 提出課題 授業内討論 ・発表等 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度